

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25925] プレセプシン

受託開始日

- 平成25年11月20日(水)

プレセプシン

敗血症は細菌等の感染により引き起こされる全身性炎症反応症候群 (SIRS) で、多臓器不全などを引き起こす致死性の疾患です。敗血症では早期の適正な治療が最も重要であり、迅速な診断のため、より精度の高いマーカーの開発が切望されています。

プレセプシンは、食細胞が細菌等を貪食する際に利用するCD14タンパクが消化酵素等による細胞内消化を受け分泌されるCD14のN末端部分からなる分子量約13kDaのタンパクです。

プレセプシンは、敗血症患者の血中で高値となり、敗血症の病態とよく相関することが報告されています。さらに、既存の敗血症マーカーでは高値となる熱傷や外傷などの敗血症と無関係な病態の影響を受けにくいことから、より精度の高い敗血症マーカーとして利用が期待されています。

検査要項

項目コード	25925
検査項目名	プレセプシン
検体量及び保存方法	血漿 0.4mL/凍結 [容器番号:10番 (ヘパリン採血管) もしくは14番 (EDTA-2Na採血管) →02番 (提出容器)]
検査方法	CLEIA
基準値	未設定 (pg/mL)
所要日数	2~8日
検査実施料	未収載
備考	<ul style="list-style-type: none">●ご出検の際には、ヘパリン容器 (容器番号10番) もしくは内分泌容器 (EDTA-2Na採血管 容器番号14番) に採血後、直ちに十分混和し、冷却遠心分離後に血漿を提出容器 (容器番号02番) に移し凍結保存の上、ご提出ください。●専用検体としてご提出ください。(他項目との重複依頼は避けてください。)●ボルテックスミキサーによる強い攪拌は測定値が上昇しますので使用しないで下さい。

参考文献

Shozushima T., et al., J Infect Chemother., 17(6) : 764-769, 2011.

Okamura Y., et al., Clin Chim Acta., 412(23-24) : 2157-2161, 2011.